

### 太田市立太田高等学校アメリカ研修 1 日目 (3/3)

本日はあいにくの雨でしたが、集合時間前に保護者の方と一緒に皆元気に集まりました。出発式では教頭先生に激励の温かい言葉を頂き、生徒からもトラブルが起こっても自分たちの行動力で解決していきたいとの力強い決意が感じられました。多くの先生方、保護者の方に見送られ、バスが出発。渋滞もなく予定より早く羽田空港に到着しました。手荷物検査や出国手続きも滞りなく進みましたが、順調に進んでいたのは残念ながらここまで…。経由地のミネアポリス行きの便は 2 時間遅れとなっていました。昨年もスケジュール変更は起こったので、事前研修でも予定通りには行かないことを伝えていましたが、出発からこのような事態は予想していなかったのか、驚きの表情の生徒たち。それでもこの空いた時間を有効に使おうと、この研修の目玉でもあるラフィエットでの訪問先についての情報共有をしました。事前に 5 か所の訪問先の担当を決めており、グループごとに調べてきたことを発表します。担当を決めたとは言え実際に訪問する際は全員が全ての訪問先の知識を持ち、興味を持って交流や質問をするための大事な時間なので、それぞれ他グループの発表のときはメモを取るなど真剣に聞いていました。来週の訪問までに時間を取ながら、更に準備を進めて行くこととなります。

この後出発までは自由時間としました。この遅延は航空機の機材が原因だったため、チェックインの際に航空会社からスナックの配布、待機時間にもジュースやホットドックなどが用意されており、あまりストレスなく過ごすことができました。

遅延分の二時間後、無事ミネアポリス空港に到着。入国審査では緊張したと言う生徒もいましたが、多くは聞かれたことを理解し返答できたとホッとしていました。中には日本語で質問してきたと言うラッキーな審査官もいたようです。アメリカ入国を無事にすませた生徒たちですが、ここでも思わぬ事態に見舞われました。羽田空港で、最新のフライト情報は電光掲示板で確認することを伝えていたのですが、乗り継ぎ便の情報を見た生徒たちは困惑気味。遅延を意味する Delay は理解できても、予定時刻の 5:55 が 5:30 になっているのはいったいどういうことなのか、理解不能な様子。改めて am になっていることを伝えると、さすがに悲鳴のような声が上がりました。ボストンの天候不良によりまさかの約 12 時間遅れです。残念ながらこの後の便も満席状態となっており、今夜はミネアポリスで一泊過ごすことになりました。空港内で夕食を取り、シャトルバスでホテルに向かいます。外は -20°C を超える極寒。興味本位で少し外に出てみた生徒はすべてを凍らせてしまうような厳しい寒さに逆に面白さを感じていました。予定外のことばかりで肉体的にも精神的にも疲労が溜まっているとは思いますが、ネガティブに考えることなく前向きに行動をしてくれ、逞しさを感じます。明日は早朝、と言うより夜中の 3:30 にホテルのロビー集合としています。しばしの休息となりますが、少しでも体を休め、明日からに備えてほしいと思います。



出発式での生徒の挨拶



先生方・保護者の方に「行ってきます！」



羽田空港出発ゲート前で



電光掲示板でフライトの確認



グループごとに発表の準備



訪問先の情報共有をする生徒たち